

## シビックエンゲージメントセンター利用状況

### センター利用状況

参加者とリピーター数 (単位：人)		参加カテゴリー (単位：人)		参加形態 (単位：人)	
延べ人数	507	セミナー・講座	329	オンライン	109
参加人数	385	ボランティア活動	111	オンライン・対面	15
リピーター	71	シンポジウム	22	対面	351
		ボラサポ	43		507
		災害・復興ボランティア補助	1		
		教職員参加補助	1		
			507		

### 参加者の属性（所属学部）と活動分野

		(単位：人)								
活動分野		国際協力・交流	災害・復興支援	ジェンダー・マイノリティ	子ども支援	清掃	福祉	地域	その他	総計
学部生	属性	55	36	26	81	16	96	50	17	377
	文学部	17	4		15	3	16	6	4	65
	教育人間科学部	1	2	6	16		7	5	2	39
	経済学部	3	6	2	3	2	2	1		19
	法学部	9	5	3	22	1	17	6	1	64
	経営学部	3	3	1	4	3	7		3	24
	国際政治経済学部	5	2	5	2	1	10	3	2	30
	総合文化政策学部	3	6	7	4	1	4	1	1	27
	理工学部	1	1		1		5	6		14
	社会情報学部	5					1	2		8
	地球社会共生学部	4	1	2	4	1	1	2	1	16
	コミュニティ人間科学部	3	6		7		26	18	3	63
	不明	1			3	4				8
大学院生		5	1	4	4	0	5	4	0	23
	総合文化政策学研究科									0
	国際政治経済学研究科						1			1
	経営学研究科	1			1					2
	会計プロフェッション研究科			1						1
	国際マネジメント研究科	2		2	2			2		8
	教育人間科学研究科			1			2	1		4
	文学研究科	2					2			4
	理工学研究科		1		1			1		3
	不明									0
科目履修生				1						1
教員		13		1		1	3	8	3	29
職員		22	3	1			12	8		46
一般（学外）		2	18	1			1		9	31
総計		97	58	34	85	17	117	70	29	507

ボランティア情報取扱数

1. 団体登録件数（新規登録団体）

青山	208 件 (23)
相模原	44 件 (12)

2. ボランティア等募集件数

青山	543 件
相模原	141 件

3. カテゴリー別ボランティア等募集件数

カテゴリー	青山	相模原
ボランティア募集	84 件	62 件
ニュースレター	344 件	39 件
講座・セミナー	58 件	18 件
イベント	28 件	16 件
助成金情報	7 件	0 件
インターン	8 件	4 件
シンポジウム	1 件	0 件
その他	13 件	2 件
合計	543 件	141 件

4. 領域別ボランティア等募集件数

領域	青山	相模原
災害救援・復興支援	11 件	9 件
社会福祉	50 件	56 件
環境保護	37 件	6 件
教育支援	40 件	29 件
スポーツ・文化・芸術	13 件	8 件
国際協力・交流	33 件	7 件
まちづくり	6 件	9 件
ジェンダー・マイノリティ	1 件	0 件
全般	352 件	17 件
合計	543 件	141 件

シビックエンゲージメントセンター利用状況

青山	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来室者数	69	75	97	44	7	42	99	78	56	21	5	11	604
相談件数	14	11	13	6	0	2	8	10	5	2	2	1	74

相模原	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来室者数	29	49	70	57	3	48	63	80	42	24	12	25	502
相談件数	5	5	8	6	0	1	1	7	1	1	2	0	37

前年度比

青山	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来室者数	▲ 67	+ 61	+ 23	▲ 5	+ 1	+ 37	+ 19	+ 34	▲ 18	+ 1	▲ 1	+ 0	+ 85
相談件数	▲ 11	+ 8	+ 10	+ 4	0	+ 2	+ 1	+ 5	+ 0	▲ 4	+ 0	+ 0	+ 15

相模原	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来室者数	+ 8	+ 36	+ 14	+ 33	+ 3	+ 46	+ 43	+ 54	▲ 11	+ 9	+ 8	+ 22	+ 237
相談件数	▲ 8	+ 1	▲ 8	+ 0	+ 0	+ 1	▲ 8	+ 5	▲ 2	▲ 1	+ 0	+ 0	▲ 20

青山 相談内容

日付	相談内容
4月	<p>横浜市内での学習支援や公務員に役立ちそうなボランティアを教えて欲しい。                      国際系ボランティアに興味があるが、きっかけが分からず相談に来た。                      今年度のボラサポステップアップコースの制度申請について。                      中・高での教育支援ボランティアについて。                      金沢 Out Sider Art Project について。自分もプロジェクトに関わりたい。                      海外に行くボランティアについて知りたい。                      母子生活支援施設でのボランティアに興味がある。                      食に関わるボランティアを探している。                      渋谷区こどもテーブルや外国人と接するボランティアに興味がある。                      調布、鎌倉での学習支援、校内での活動を知りたい。(学習支援)                      学生団体メンバー分の加入手続き方法について。                      災害ボランティアや文化・スポーツ系のボランティアに興味があり、参加できそうなボランティアを探している。                      サークル入会を検討しているが、ボランティア保険に加入しなければならないのか？                      ウクライナでのボランティアに興味を持った。</p>
5月	<p>Roote の活動、ボランティアの企画に興味がある。                      団体のブログ内容に関する相談。                      横浜市教育実践ボランティアの登録手続きをしたい。                      環境問題の啓発活動を中心とした学生団体を立ち上げたい。                      広尾アフタースクールボランティア、広尾子ども食堂ボランティアについて知りたい。                      子どもの居場所支援ボランティアの情報が知りたい。                      ゼミ活動で高校生を対象とした進路相談等の活動を行いたい。センターと連携している学校があるか。                      まちづくり等の地域支援活動のコーディネーターになるにはどのような就職先があるのか。                      居場所を見失ってしまっている子供達の相談相手になるボランティアを探している。                      活動予定のボランティアについて、自身でも保険加入が必要かどうか。                      ボランティアの参加方法について。登録やサークルへの加入が必要か。</p>
6月	<p>ボラサポ制度について教えて欲しい(東横キッズの問題) その他、ボランティア相談に乗る仕事について。                      子ども関連のボランティア(特に相模原地域)を紹介して欲しい。                      ボラサポスタートアップの企画書の書き方について。(プロジェクト内容、目標設定など)                      夏休みにボランティアに参加してみたい。(国際、子どもなどジャンルは絞らず)                      災害ボランティア活動や大学(CEC)で募集しているプログラムについて知りたい。                      ボラサポスタートアップコースの申請書類について。(主に予算書)                      ウクライナ難民支援ボランティアについて。                      ウクライナ難民支援ボランティアについて、宿泊先など詳しい情報を知りたい。                      日本財団 VC のウクライナ難民支援ボランティアに興味がある。                      特技(マジック)を活かしたボランティアがしたい。個人または所属団体でできるボランティアを紹介してほしい。                      CEC はどんな場所なのか。                      日本財団 VC のウクライナ難民支援ボランティアに応募した。                      就活中で、将来国際協力の分野に進みたく悩んでいる。</p>
7月	<p>夏休みに一定期間参加できる活動を知りたい。                      青山キャンパスの近くで学習支援ボランティアを遣ってみたい(渋谷～杉並)。                      自身が所属する団体のボランティアスタッフを青学生に募りたい。                      夏休み期間中に参加の出来るボランティアを紹介して欲しい。                      高校時代の同級生(他大学)4人とBBS運動を始める。そのための助成金情報を教えてほしい。                      8,9月に参加できる活動、分野は問わず、他大学の友達と参加したい。</p>
9月	<p>学校ボランティア(教育)に興味があり、掲示板にあるチラシをコピーして欲しい。                      何かボランティアを始めてみたい。活動に参加するために必要な手続きはあるのか。</p>
10月	<p>週末に青キャン付近で参加可能な清掃ボランティア活動について知りたい。                      国際交流のボランティアで英語を使った活動がしたい。青山キャンパス付近を希望。                      環境活動家のセミナーを本学で開催したい。                      海外で1週間ほど行けるボランティア、安全安心な国、学生と行ける、予算低め、春休みに活動希望。                      余暇活動活動でガウチャー礼拝堂を使用したい。できればパイプオルガンも使用したい。                      CEC前で回収している古着プロジェクトの主催に連絡を取りたいが、SNS以外の連絡先を教えてください。                      有志で渋谷駅付近のゴミ拾い活動をしている。これまでゴミを捨てていた公園が閉鎖されたため代わりに捨てられる場所はありますか？</p>

11月	<p>ごみ拾い活動を行う。ごみ袋 20～30 袋くらい。公園が閉鎖され、ごみ集積所が使えなくなった。</p> <p>学習支援ボランティアに関して</p> <p>休学中だがボランティア活動(全般)に参加したい。</p> <p>次年度のボラサポ申請を希望。オンライン形式のイベントでも補助対象となるのか。(謝金など)</p> <p>自分の子どもが高校1年生だが、高校生でも参加できるボランティアプログラムは紹介してもらえるのか。</p> <p>非行少年に関わるボランティアに興味ある。どの程度青学生が参加しているか。</p> <p>デートDVを防止するプロジェクトを実施する予定。ポスターを掲示してほしい。</p> <p>海外ボランティアプログラムに申し込んだが信頼できる団体なのか。</p> <p>Study for Twoメンバー。一日で参加できるボランティアを紹介してほしい。</p> <p>海外で実際にボランティアをしたい。貧しい方の家作りや子供へ勉強を教えることに興味あり。</p>
12月	<p>ボランティアしたいがどのような活動があるか。福祉分野で大学近くでの活動を希望。</p> <p>カンボジア日本語ボランティアに関心がある。どのような活動か聞きたい。</p> <p>個人で申し込んだボランティア先が、安全な団体(会社)かどうか知りたい。</p> <p>特別配慮受験アシスタントの参加について。</p> <p>学生主体での車いすバスケのイベントを開催予定。青学生に周知したい。</p>
1月	<p>学生ポータルで発信されていたデザインアワードについて詳しく知りたい。</p> <p>春休みにボランティア活動に参加してみたい。</p>
2月	<p>横浜市教育実践ボランティアへの参加にあたり、登録手続きを行いたい。</p> <p>国際、貧困、環境などの現在参加出来るボランティアを紹介して欲しい。月一程度で継続的に参加をしたい。</p>
3月	<p>シャンティ・シャンティとしてカンボジアで活動したい。</p>

**相模原 相談内容**

日付	相談内容
4月	<p>子どもの情操教育(ダンス、歌、音楽、芸術など)に慎める活動がしたい。</p> <p>学習支援やごみ拾いなどのボランティアをしたい。</p> <p>自分の所属している外部ボランティア団体のポスター、チラシ等の掲示をお願いしたい。</p> <p>学生ボランティアの募集をしたい。</p> <p>学習支援をしたい。</p>
5月	<p>自宅周辺で学習支援ボランティアを探している。</p> <p>海外ボランティアに関心があり、実際に今どんな活動が行われているのかの詳細を伺いたい。</p> <p>国際交流、国際協力 ボランティアに興味がある。コロナ禍で海外へ行くことが難しいと思うので、国内でできるボランティアを教えてください。</p> <p>ウクライナ隣国でのボランティアプログラムへの参加が決定報告及び相談。</p> <p>ウクライナ支援(日本財団)派遣に興味がある。</p>
6月	<p>発達障害を持った子供達を大学に呼んで、大学に良いイメージをもってもらいたい。アルバイト先で接している子供達に、大学進学という選択肢もあるということを知ってもらいたい。</p> <p>6月2日の相談を受けて企画書の原案を作成した。</p> <p>6月14日に実施するカンボジア日本語サロン実施について。</p> <p>構内でイベントを開催したい。(古着を売ったり、シーグラスを作って売る等)売上は募金を考えている。</p> <p>企画書の修正案を作成。協力してもらえる友達を見つけ、学生グループを結成。</p> <p>学生団体との連携・紹介のお願い。</p> <p>イベントについて、スケジュール案の確認。</p> <p>ウクライナ難民支援の応募報告。</p>
7月	<p>夏休みに時間ができそうなので、ボランティアをしてみたい。</p> <p>ウクライナ難民支援派遣帰国報告の為。</p> <p>相模原中央区役所のボランティアについて。</p> <p>ウクライナ難民支援 第5グループ申込予定。</p> <p>夏休みに時間ができるので何かボランティアをしてみたい。</p> <p>ベーカリースワンで子ども食堂に支援を行いたい。その為にクラウドファンディングを考えている。</p>
9月	<p>「MAPを用いた地域貢献」のプロジェクト(相模原市と共に多言語ハザードマップ作成)について。</p>
10月	<p>非行少年や補導歴のある子どもたちをサポートするBBSの活動を立ち上げた。</p>
11月	<p>相模原防災フェスティバルin中央区に参加したい。</p> <p>相模原防災フェスティバルin中央区に参加したい。</p> <p>相模原防災フェスティバルに参加検討中。</p> <p>ウクライナ避難民支援ボランティアの報告会を聞いて、自分も何かイベントをしたい。</p> <p>防災フェスティバルin中央区に参加したい。</p> <p>同じ学部友人たち数人と長期的にできるボランティアがしたい。例えば子ども支援など。</p> <p>国際分野、カンボジア日本語サロンや春休み中のサービス・ラーニング科目にも興味がある。</p>
12月	<p>子どもに関わるボランティアに興味がある。</p>
1月	<p>自身が加入している学外ボランティア団体のチラシを掲示してほしいとのこと。</p>

# 青山学院大学シビックエンゲージメントセンター規則

(2016年11月24日理事会承認 (2022年2月24日全部改正))

改正 2022年9月29日

## (趣旨)

第1条 この規則は、青山学院大学学則第6条第2項の規定に基づき、青山学院大学シビックエンゲージメントセンター（以下「センター」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

## (センターの目的)

第2条 センターの目的は、学校法人青山学院（以下「本法人」という。）が設置する学校（以下「設置学校」という。）に在籍する学生、生徒、児童及び園児並びに本法人の教職員が、主体的に多様なニーズに応える社会貢献活動を体験し、又は学問領域の枠にとらわれない知識を修得し、他者とともに未来の国際社会及び地域社会を創造する市民として、かつ、全てのひとと社会のために仕えるサーバント・リーダーとして成長するよう支援することとする。

## (センターの事業)

第3条 センターは、前条に規定する目的を達成するため、ボランティア及び市民協働に関する活動、サービス・ラーニング等の社会との連携を通じた教育研究及び設置学校間の連携に係る次の事業を行う。

- (1) ボランティア及び市民協働に関する活動の実施及び促進
- (2) ボランティア及び市民協働に関する活動の情報収集及び管理
- (3) ボランティア及び市民協働に関する活動への参画機会の提供並びに参画する学生及び団体の支援
- (4) サービス・ラーニング科目等の開発支援及び促進
- (5) 設置学校におけるボランティア及び市民協働に関する活動、サービス・ラーニング等の支援及び促進
- (6) ボランティア及び市民協働に関する活動、サービス・ラーニング等に関する学内外の専門家及び関連団体との連携の促進
- (7) ボランティア及び市民協働に関する活動、サービス・ラーニング等に関する調査及び研究
- (8) センターの活動に関する成果の報告
- (9) 前各号に規定するもののほか、センターの目的達成に必要な事業

## (センターの組織)

- 第4条 センターに、センター長1名を置く。
- 2 センターに、副センター長1名を置く。
- 3 センターに、助教若干名を置く。
- 4 センターに、助手若干名を置く。
- 5 センターの運営等に係る重要事項を審議するため、センターにシビックエンゲージメントセンター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。
- 6 センターの運営等に必要事項を検討するため、運営委員会の下にシビックエンゲージメントセンター実務委員会（以下「実務委員会」という。）を置く。

## (センター長)

- 第5条 センター長は、センターの業務を統括し、センターを代表する。
- 2 センター長は、学長が青山学院大学（以下「本学」という。）の専任教員の中から候補者を推薦し、運営委員会及び学部長会の審議を経て、学長が委嘱する。
- 3 センター長の任期は、2年とする。ただし、前任者が任期途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 センター長は、再任されることができる。

## (副センター長)

- 第6条 副センター長は、センター長を補佐し、センター長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 2 前項に規定するもののほか、センター長は、必要があると認める場合は、副センター長にその職務の一部を臨時に代理させることができる。
- 3 副センター長は、センター長が本学の専任教員の中から候補者を推薦し、運営委員会及び学部長会の審議を経て、学長が委嘱する。
- 4 副センター長の任期は、2年とする。ただし、前任者が任期途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 副センター長は、再任されることができる。

## (センター助教)

- 第7条 センターの助教（以下「センター助教」という。）は、学校法人青山学院助教に関する就業規則（以下「助教に関する就業規則」という。）の定めるところにより雇用された、センターに所属する本学の専任教員とする。
- 2 センター助教は、本学のいずれかの学部又は専門職大学院研究科（以下「学部等」という。）に分属する。
- 3 センター助教は、コーディネーターの呼称を使用することができる。

## (センター助教の職務)

- 第8条 助教に関する就業規則第4条第4項の規定によるセンター助教の職務は、同条第1項に規定するものに加えて、次のとおりとする。
- (1) 第3条に規定するセンターの事業に係る業務
- (2) 前号に規定するもののほか、センター長が必要と認めた業務

## (センター助教の資格)

- 第9条 センター助教は、助教に関する就業規則第5条第1項の規定により、青山学院大学専任教員の任用及び昇任に関する規則（以下「専任教員任用昇任規則」という。）第2条第4項各号のいずれかに該当する者でなければならない。
- 2 前項に規定するもののほか、助教に関する就業規則第5条第2項の規定によるセンター助教の資格は、ボランティア及び市民協働に関する活動、サービス・ラーニング等の社会との連携を通じた教育研究に係る専門的知識を有する者で、センターの



事業を遂行するために必要な能力を有するものとする。

**(センター助教の雇用手続)**

第10条 センター助教の雇用は、次項から第5項までの規定による。

- 2 センター長は、センター助教の候補者の雇用が適当であると認めるときは、運営委員会の審議を経て、学長に、センター長による推薦状、当該候補者の経歴、業績等が明記された書類その他必要と認められる書類を添えて、その候補者の雇用を発議する。
- 3 学長は、前項の規定による発議を適当と判断したときは、学部長会にこれを付議する。この場合において、前項の候補者が雇用された場合の分属学部等について、併せて付議する。
- 4 前項の学部長会において、候補者を雇用することが可とされ、かつ、その分属学部等が決定した場合の当該候補者の雇用の決定は、専任教員任用昇任規則第3条第1項第3号から第6号までに規定する手続を経なければならない。この場合において、同項第3号中「学部長等」とあるのは「分属先の学部等（以下「分属学部等」という。）の長」と、「当該専任教授会」とあるのは「当該分属学部等の専任教授会」と、同項第4号中「専任教授会」とあるのは「分属学部等の専任教授会」と、同項第5号中「学部長等は、専任教授会」とあるのは「分属学部等の長は、当該分属学部等の専任教授会」とする。
- 5 専任教員任用昇任規則第3条第1項第4号の審査委員会については、同規則第4条の規定を準用する。この場合において、同条第1項中「専任教授会」とあるのは「分属学部等の専任教授会」と、同条第2項本文中「当該学部等」とあるのは「分属学部等」と、同項ただし書中「当該学部等」とあるのは「当該分属学部等」と、「他学部」とあるのは「分属学部等以外の学部」と、同条第4項中「各学部等」とあるのは「分属学部等」と読み替えるものとする。

**(センター助教の雇用契約の契約期間等)**

第11条 センター助教の雇用契約の契約期間、待遇、勤務等については、助教に関する就業規則の定めるところによる。

**(センター助手)**

第12条 センターの助手（以下「センター助手」という。）は、学校法人青山学院助手に関する就業規則（以下「助手に関する就業規則」という。）の定めるところにより雇用された、センターに所属する本学の専任教員とする。

- 2 センター助手は、コーディネーターの呼称を使用することができる。

**(センター助手の職務)**

第13条 助手に関する就業規則第4条第3項の規定による職務は、同条第1項に規定するものに加えて、次のとおりとする。

- (1) 第3条に規定するセンターの事業に係る業務
- (2) 前号に規定するもののほか、センター長が必要と認めた業務

**(センター助手の資格)**

第14条 センター助手は、助手に関する就業規則第5条第1項の規定により、専任教員任用昇任規則第2条第5項各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- 2 前項に規定するもののほか、助手に関する就業規則第5条第2項の規定によるセンター助手の資格は、ボランティア及び市民協働に関する活動又はサービス・ラーニングに係る専門的知識を有する者とする。

**(センター助手の雇用手続)**

第15条 センター助手の雇用は、次項から第4項までの規定による。

- 2 センター長は、センター助手の候補者の雇用が適当であると認めるときは、運営委員会の審議を経て、学長に、センター長による推薦状、当該候補者の経歴、業績等が明記された書類その他必要と認められる書類を添えて、その候補者の雇用を発議する。
- 3 学長は、前項の規定による発議を適当と判断したときは、学部長会にこれを付議する。
- 4 候補者の雇用の決定は、前項の規定により学部長会の審議を経た後、常務委員会及び常務理事会で協議し、理事会の承認を得なければならない。

**(センター助手の雇用契約の契約期間等)**

第16条 センター助手の雇用契約の契約期間、待遇、勤務等については、助手に関する就業規則の定めるところによる。

**(協力者)**

第17条 センター長は、センターの事業の実施に必要なと認める場合は、当該事業に協力する者（以下「協力者」という。）を置くことができる。

- 2 協力者は、センターの事業の実施に必要な専門的知識又は経験を有する本学外の者で、当該事業の実施に係る助言又は協力を行う。
- 3 協力者は、センター長が候補者を推薦し、運営委員会の審議を経て、学長が委嘱する。
- 4 協力者の任期は、原則として1年以内とする。ただし、再任されることができる。
- 5 協力者は、当該協力者であることを示すものとして、アドバイザーの呼称を使用することができる。
- 6 第2項の助言又は協力は、無償とする。ただし、センター長が、必要があると認める場合は、学校法人青山学院謝礼等の支給基準に関する内規（以下「支給基準に関する内規」という。）の定めにより、報酬又は謝礼を支給することができる。

**(運営委員会の構成)**

第18条 運営委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 大学宗教部長
- (4) 本学の専任教員の中からセンター長が指名する者 次のとおりとする。
  - イ 青山キャンパスを就学キャンパスとする学部又は研究科から 1名以上
  - ロ 相模原キャンパスを就学キャンパスとする学部から 1名以上
- (5) 庶務部長
- (6) 学生生活部長
- (7) 相模原事務部長
- (8) 学務部長

- 2 前項第4号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、前任者が任期の途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前項の委員は、再任されることができる。

**(運営委員会の招集、開催、表決数等)**

第 19 条 運営委員会は、センター長が招集し、議長となる。

2 運営委員会は、必要に応じて開催する。

3 運営委員会の開催は、委員の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。この場合において、運営委員会で審議する事項につき、書面をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。

4 運営委員会の議決は、出席した委員の過半数の賛成を必要とする。

5 議長は、必要があると認める場合は、委員以外の者を列席させ、意見を聴くことができる。

**(運営委員会の審議事項)**

第 20 条 運営委員会は、次の事項を審議する。

(1) センターの運営等に係る基本方針に関する事項

(2) センターの予算及び決算に関する事項

(3) センター長、副センター長、センター助教及びセンター助手の人事に関する事項

(4) 前 3 号に規定するもののほか、センターの運営に必要な事項

**(実務委員会の構成及び開催)**

第 21 条 実務委員会は、次の委員をもって構成する。

(1) センター長

(2) 副センター長

(3) センター助教

(4) センター助手

(5) 本学の専任教員の中からセンター長が指名する者 次のとおりとする。

イ 青山キャンパスを就学キャンパスとする学部又は研究科から 1 名以上

ロ 相模原キャンパスを就学キャンパスとする学部から 1 名以上

(6) 庶務部社会連携課長

(7) 学生生活部学生生活課長

(8) 相模原事務部学生生活課長

(9) 学務部教務課長

(10) 相模原事務部学務課長

2 前項第 5 号に規定する委員の任期は、2 年とする。ただし、前任者が任期の途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

3 前項の委員は、再任されることができる。

4 実務委員会は、センター長が必要に応じて招集し、議長となる。

5 センター長は、必要があると認める場合は、委員以外の者を列席させ、意見を聴くことができる。

**(実務委員会の業務)**

第 22 条 実務委員会は、次の事項について協議し、その執行に当たる。

(1) センターの事業遂行に係る計画の策定及びその実施に関する事項

(2) センターが行うボランティア及び市民協働に関する活動、サービス・ラーニング等に係る企画、立案及び実施に関する事項

(3) 外部の組織との連携に関する事項

(4) センターの予算案の作成及び予算の執行に関する事項

(5) 学生スタッフに関する事項

(6) 前各号に規定するもののほか、センターの運営等に必要な事項

2 センター長は、必要があると認める場合は、前項の規定による協議、執行等の結果を、運営委員会に報告する。

**(学生スタッフ)**

第 23 条 センター長は、必要があると認める場合は、センターに学生スタッフを置くことができる。

2 学生スタッフは、センター長の指示により、センターの活動に係る補佐業務に当たる。

3 前項の補佐業務は、無償とする。ただし、センター長が、必要があると認める場合は、支給基準に関する内規の定めにより、報酬又は謝礼を支給することができる。

4 学生スタッフは、本学の学部又は大学院研究科に在籍する学生で、センターの活動への参加を希望する者の中から、センター長が任命する。

**(所管)**

第 24 条 この規則は、庶務部社会連携課が所管する。

**(改廃手続)**

第 25 条 この規則の改廃は、運営委員会及び学部長会の意見を聴いた後、常務委員会で協議し、理事会の承認を得て、学長がこれを行う。

**附 則**

1 この規則は、2022 年 4 月 1 日から施行する。

2 2022 年 3 月 31 日において青山学院大学ボランティアセンターの助手として在職した者で、この規則の施行日においてセンター助手として在職するものは、この規則で定めるところによりセンター助手として雇用され、又はその契約期間を更新されたものとみなす。

**附 則 (2022 年 9 月 29 日)**

この規則は、2022 年 9 月 30 日から施行する。

## 2022 年度 シビックエンゲージメントセンター 委員一覧

2023 年 3 月 31 日現在

### 運営委員会

センター長（議長）	飯島 泰裕 教授（社会情報学部）
副センター長	大宮 謙 教授（社会情報学部）
大学宗教部長	塩谷 直也 教授（法学部）
センター長指名（青山）	外岡 尚美 教授（文学部）
	中邨 良樹 教授（経営学部）
	宮副 謙司 教授（国際マネジメント研究科）
センター長指名（相模原）	澤邊 厚仁 教授（理工学部）
	河見 誠 教授（コミュニティ人間科学部）
庶務部長	黒沼 一輝
学生生活部長	馬場 修二
相模原事務部長	田口 知博
学務部長	乃美 浩一

### 実務委員会

センター長（委員長）	飯島 泰裕 教授（社会情報学部）
副センター長	大宮 謙 教授（社会情報学部）
センター助手	秋元 みどり 助手
	佐藤 亜希 助手
	島崎 由宇 助手
	三神 憲一 助手
	水谷 耕平 助手
センター長指名（青山）	山本 珠美 教授（教育人間科学部）
	宮副 謙司 教授（国際マネジメント研究科）
センター長指名（相模原）	渡邊 昌宏 教授（理工学部）
	堀江 正伸 教授（地球社会共生学部）
	河見 誠 教授（コミュニティ人間科学部）
庶務部社会連携課長	黒沼 一輝
学生生活部学生生活課長	太田 浩史
相模原事務部学生生活課長	安東 和喜子
学務部教務課長	伊藤 大輔
相模原事務部学務課長	鴨志田 壽生

### 学生スタッフ 青山キャンパス

青佐 真里奈（経営学部経営学科 3 年）
中田 莉奈（法学部法学科 3 年）
二通 優衣（文学部フランス文学科 2 年）
福井 咲希（文学部日本文学科 3 年）

### 相模原キャンパス

小泉 彩乃（コミュニティ人間科学部 3 年）
佐藤 桃香（コミュニティ人間科学部 2 年）
藤原 熙人（コミュニティ人間科学部 3 年）